

キャンプファイヤー

ねらい

- ① 営火を囲み、自他共に見つめ合い、語らい親睦を深める。
- ② ゲームやダンスを楽しみながら友情と協力の精神を高め、豊かな心を養う。
- ③ グループや全体の協力の重要性を体験させ、スタンプ(出し物)などを作り、発表し合うことを通して、創造性と協調性を高め、友情の輪を広げる。

1、準備

(1)、キャンプファイヤーの中で必要な歌唱指導(例)

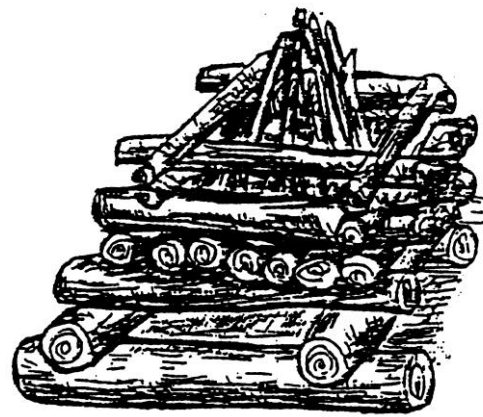
- ・遠き山に日は落ちて ・一日の終わり ・蛍の光
- ・今日の日はさようなら ・燃えろよ燃えろ など

(2)、キャンプファイヤーに必要な係(例)

- ・営火長(火の神)
- ・司会進行(全体の進行)
- ・火のみこ(火の神の先導)
- ・点火係(火を分けてもらい点火する)
- ・ヤッホー係(いくつかの方法に分かれてヤッホーと声をかける)

(3)、まきの組み方

- ・太いまきからペアを組んで「井げた」の形に崩れないように組んでいく。
- ・まきの重なる部分にナタを窪みを入れたり、針金で止めたりしておくで崩れにくい。
- ・「井げた」の中には火がつきやすいように細い木を入れる。
- ・「井げた」の下に新聞紙などを目立たないように入れておくと点火のときにすぐに火がつく。
- ・まきは明るいうちに組んでおく。



- 火の神、火のみこ用衣装は、当館に用意してありますので、所員に尋ねてください。
- トーチは当館に10本程度ありますので、事前に用意したぞうきんを使って火をつけられるように準備しておいてください。
- 放送器具を使う場合は事務室に問い合わせてください。(アンプ、デッキ、マイク等)

2、展開例（各校、各団体で独自のものを考えておいてください。）

順 序	内 容	備 考
入場	・静かに全員が入場。 ・火床を円く囲んで立つ。 ・北極星を背にして、司会は立つ。	・注意事項を確認しておく。 ・おしゃべりはしない。 ・営火場のテーブルが北。
火の神を呼ぶ	・ヤッホー係が初めに声をかけ、続いて全員で火の神を呼ぶ。	・ヤッホー係は四方に分かれて順に声を出すと良い。
火の神入場・歌	・「遠き山に日は落ちて」をハミングで歌う。 火の神が場に着くまで繰り返す。	・ハミングの途中でトーチは出発する。
火の神入場	・火のみこがトーチを持ち、続いて火の神、点火係の順で入場する。	・場内をゆっくり一周して所定場所に立つ。
火の神の話	・火の神の言葉。火のみこはトーチをかかげて火の神を照らす。	・有意義な話をする。
点火	・火の神は、火のみこからトーチを受け取り、点火係に分火する。 ・点火係は中央火床の前に進み、トーチの火を高くあげる。火の神の合図で点火する。	・分火のときに誓いの言葉を用意しても良い。
炎の歌	・「燃えろよ燃えろ」をハミングで、続いて歌詞で歌う。	・炎の勢いに合わせて元気よく。
心の歌	・静かな、心にしみいるような歌や、明るく元気のある励ましになるような歌を歌う。	
スタンツ	・明るく、楽しい雰囲気の中で、歌、劇、踊り、ゲームなどを班ごとに進行係のリードで行う。	・プログラムは1時間以内におさめる。
ダンス	・全員が参加し楽しくなるようにする。	・フォークダンス
静かな歌	・静かな雰囲気のを歌う。 ・少しずつ火をおとしていく。	・気持ちを徐々に落ち着けていく。
火の神の言葉	・感謝を込めて、子どもたちへの希望など心の糧となるような内容で印象に残る話をする。	・長すぎないように。 (2～3分程度)
別れの歌 退場	・「蛍の光」などを歌詞で、続いてハミングする。 ・火の神と火のみこが退場したら、ハミングを続けたまま全員がゆっくりと退場する。	

3、キャンプファイヤーが終了したら

(1)、火床について

- ・水をかけない。
- ・煙突フードをのせる。
- ・キャンプファイヤーが終了したこと、フードをかけたことを事務室に報告する。
- ・就寝前にもう一度火床の確認をする。
- ・次の日の朝、煙突フードをはずして、灰を片づける。(灰捨て場まで運ぶ)

(2)、衣装・放送器具等は、所定の場所にきちんと返却する。

キャンプファイヤーキャンドルファイヤーの言葉(例)

【はじめの言葉】

○司会進行()

今日も一日生なる光を与えてくれた太陽も、はるか彼方の山波に沈み、清流のほとりに夜のとばりが降りました。この星空のもと、聖なる火を迎えキャンプファイヤーをするにあたり、私たちは夜空に光を与える炎のように、明るく強い心を持ち続けることを誓い、楽しく過ごしたいと思います。

【営火長の言葉】

●火の神()

わたしは、根本山に住む火の神(天狗)である。今夜ここに、〇〇〇〇〇の仲間たちがつどい、キャンプファイヤーに神聖なる火がほしいと聞き、はるばるやってきた。

今日もまた無事に過ごせたことに感謝し、みなとの友情のため、この火を素晴らしい仲間たちに与えよう。

【分火の儀式・誓いの言葉】

●火の神

友情の火を与える。

◎点火係()

私たちは、友達を大切に、友情の輪を広げていきます。

●火の神

健康の火を与える。

◎点火係()

私たちは、心身共に健康を守っていきます。

●火の神

前進の火を与える。

◎点火係()

私たちは、将来の夢をかなえるために、正しく進んでいきます。

【終わりの言葉】

○司会進行

楽しい集いの間、わたしたちをあたたく見守ってくれた火は、今や静かに消えようとしています。火の明るいうちにもう一度、隣の人顔、まわりの人顔をみてください。

素晴らしい表情を！ 明日も今夜のこの笑顔でいたいと思います。

ここに集いを閉じるに当たり、私たちに感動を与えてくれたすべてに感謝して終わりにします。